

臨床検査専門科目	病因・生体防御検査学					
		1単位	演習	平成30年度	後期	4年次
臨床検査学科	選択					
科目名	病因・生体防御検査学特論					
担当教員	◎小松方 畑中徳子 中村彰宏					
目的	病因・生体防御（微生物と免疫）の基本的知識とともに、微生物学的検査、医動物学的検査、免疫学的検査および輸血・移植検査の原理、検査法、臨床的意義について重要ポイントを総括的に学習する。臨床検査の現場での応用力を身につけるとともに国家試験にも対応する。					
目標	病因・生体防御検査学の基礎や検査結果の解釈、免疫検査、輸血・移植検査、微生物検査、および医動物検査の種類と意義を講義する。 病因・生体防御系の機能と制御の基本的知識と最新情報を紹介し、微生物・ウイルス感染症、アレルギー、自己免疫疾患などの診断・治療効果判定の原理と技術などの総括を教授し、微生物・輸血・移植免疫にも適応させる。					
他科目との関連	免疫検査学、輸血・移植検査、微生物検査、医動物検査					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	筆記試験点数				1
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	過去の国家試験問題「臨床免疫学」のプリントを配布 過去の国家試験問題「臨床微生物学」「医動物検査学」のプリントを配布					
参考資料	新版臨床免疫学(第2版):宮坂信之他著, 講談社サイエンティフィック 臨床検査知識の整理「臨床免疫学」:新臨床検査技師教育研究会編, 医歯薬出版 移植・輸血検査学:猪子英俊他監修, 講談社サイエンティフィック 微生物学/臨床微生物学(臨床検査学講座)第3版 医歯薬出版 医動物学(臨床検査学講座) 医歯薬出版					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	病因・生体防御検査学の基礎知識と国試対策として、教科書とプリントを中心にオムニバス形式の授業を行う。					